

# F Mアップルウェーブ 第133回放送番組審議会

開催日時

令和5年9月2日(土) 12:00~13:00

開催場所

菊富士(弘前市坂本町)

出席委員

委員長 佐藤 信隆、副委員長 鳴海 清彦  
委員 佐藤 浩之、渋谷 拓哉、高村 智子

会社側出席者

代表取締役社長: 一戸 勝美  
放送部部長: 佐藤 誠、副部長: 花田 由香子

議 題

- (1) 番組に対する意見要望
- (2) 次回開催日について 12月12日(火)

議事の概要

○ 各委員が質問と意見や気が付いた点を述べる形で議事が進行した。

1) 課題番組 『ゴゴナビ!!火曜日』

- ① 地元出身ではないタレントと地元を離れて長いミュージシャンが弘前、青森をどう見ているのか、住んでいると当たり前すぎて気づかないことに気づかせる番組。地域の食べ物・まつり・産業や、懐かしいと思えるような話題についてトークしている。青森が舞台になったアニメ・マンガなどの作品を県外在住の人がどう見たか、とても興味深かった。
- ② 3時間をいっきに聴くと長く感じた。農業情報や別番組などが、二人のトークを分断するように合間に入ってくるのは流れができづらいので構成を見直したほうが良いのでは。番組のコンセプト(売り)が伝わってこない。クライマックス的な場面もないので3時間は飽きてしまった。
- ③ 『やじうま川柳』のコーナーはやっぱり面白い。ブラックユーモアにあふれる展開が心地よい。『ゴゴナビ!!火曜日』メインパーソナリティのふたりの掛け合いもテンポよく、それぞれの役割もはっきりしていて、今後、回を重ねるごとに良くなっていくのでは。面白い番組。聞き手がいろんな引き出しを用意して話を広げている。電話インタビューで相手の顔が見えないながらも様々な話題を引き出ししていた。「ここに書いてある」と言った際には、ラジオであるのだから「どこに」ということをフォローするべきだった。
- ④ 県内外で活躍されている二人の話は、引き出しも多く聴いていて楽しかった。地元の駄菓子や和菓子について、県外の人にもわかりやすく、魅力的に紹介していてうれしく感じた。サクラオーバルズの選手が登場するコーナーでもとても盛り上がり、試合を見に行きたくなった。メインの二人がゲストやリポーター、リスナーをつないで盛り上げている感じが良かった。
- ⑤ 二人のトークが被る場面も多く、うるさく感じた。食べ物の話が3時間の中でいろいろ触れていたが、まとめて話したほうが良かったのでは。佐藤製菓では菓子の歴史にも触れていてとても面白かった。サクラオーバルズの選手登場の際、チームの詳しい紹介がなかったので毎回紹介するべき。

【審議機関の答申または改善意見の公表】

- 1) 議事録を本社に配備し、社内各部署に配布
- 2) FMアップルウェーブのホームページに掲載